

平成26年度 当初予算案

主要事項説明資料

政策企画部

主要事項説明資料目次

政策企画部

ページ	事業名	担当課(室)
政策企画 1	「明日の京都」推進費	戦略企画課 計画推進課
2	関西広域連合分担金	戦略企画課
3	大学のまち・京都魅力強化事業費	戦略企画課
4	京都学生祭典開催助成費	戦略企画課
共通 5	みやこづくり推進事業費	計画推進課
6	「海の京都」事業費	計画推進課 自然環境保全課 海外経済課 観光課 農村振興課 港湾課 交通政策課 都市計画課
7	新・世界遺産事業費	計画推進課 文化芸術振興課 観光課 農政課
8	和食文化推進事業費	計画推進課 観光課
9	「宇治茶きらめき街道(仮称)」プロジェクト推進事業費	計画推進課 道路管理課
政策企画 10	「明日の京都」計画改定費	計画推進課
共通 11	けいはんなエネルギー未来都市創造事業費	文化学術研究都市推進課 新技術拠点整備課 府大学振興課 エネルギー政策課
政策企画 12	地域振興計画推進費	計画推進課

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	「明日の京都」推進費		
予算額	20,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的</p> <p>「明日の京都」長期ビジョン（10年～20年後を展望）で描いた将来像を見据え、今後、取り組むべき具体方策や数値目標等を盛り込んだ「中期計画」及び4つの広域振興局ごとに地域の成長戦略を示す「地域振興計画」の総合的な推進を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 重点施策の立案及び政策課題の調査・検討 「明日の京都」推進のため、大学・NPO等の知的資源を活用しながら、重点施策や新規事業等の企画・立案、府政運営上の政策課題に関する調査・検討などを実施</p> <p>(2) 「明日の京都」第三者委員会の運営 「明日の京都」の進捗状況及び重点課題をとりまとめるベンチマークレポートや「明日の京都」の推進に係る取組に対する助言等を行う公募委員等で構成する第三者委員会を運営</p> <p>(3) 京都指標に係る府民意識調査の実施 「明日の京都」がめざす社会の実現に京都府が向かっているかどうかを測るための手段である京都指標のうち、府民の生活実態や意識に関する指標について、府民意識調査を実施</p>		
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> 目的 対象 方法等 </div>			
担当課名	戦略企画課 計画推進課	課・担当 電話番号	075-414-4352 075-414-4347

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	関西広域連合分担金		
予算額	97,277千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的） 対象 方法等	<p>趣 旨 2府5県4政令市（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）を構成団体とする「関西広域連合」の運営に係る分担金</p> <p>○広域連合の事業内容 防災、観光・文化振興、産業振興、医療、環境保全、資格試験・免許等、職員研修の7分野の事業及び広域行政の推進に係る基本的な政策の企画調整</p> <p>○分担金の主な内訳 ・事業実施に要する経費 ・本部事務局事務費、議会経費、行政委員会経費 ・本部事務局職員に要する人件費</p>		
担当課名	戦略企画課	課・担当 電話番号	075-414-4352

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	大学のまち・京都魅力強化事業費		
予算額	16,140千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的</p> <p>あらゆる人々が活発に交流・連携し、世界中の学生や研究者を魅了する機能と環境を備えた「大学のまち・京都」の魅力をさらに強化し、世界に広く発信する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 『京都ギャップイヤー』事業 大学進学前の高校生や大学生を対象に、次のステップで求められる社会人を向上させるため、地域や企業との連携による社会体験を促進</p> <p>(2) OECDシンポジウム開催事業 平成26年11月にOECDパリ本部で実施される国際シンポジウムにおいて京都の魅力や大学政策を発信</p>		
<p>（目的）</p> <p>（対象）</p> <p>（方法等）</p>			
担当課名	戦略企画課	課・担当 電話番号	075-414-4334

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	京都学生祭典開催助成費		
予算額	5,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 京都に学ぶ学生が主体となって企画運営を行う「京都学生祭典」の開催に対して助成を行い、「大学のまち・京都」を世界に発信し、京都の活性化を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 主催 京都学生祭典実行委員会 (学生による事業運営機関)</p> <p>(2) 日程 平成26年10月</p> <p>(3) 場所 平安神宮・岡崎公園一帯</p> <p>(4) 内容 ・第12回京都学生祭典 「京炎そでふれ！」全国おどりコンテスト げんきっずスタジアム（子どもが楽しめる企画）等 ・地域交流活動 地域の清掃活動・夜間パトロール・打ち水等への参画 地域と学生がふれ合うイベントの企画運営</p> <p>(参考) 平成25年度「第11回京都学生祭典」の概要 テーマ： 織りなす縁と新たな挑戦 日程： 平成25年10月13日（日） 場所： 平安神宮・岡崎公園一帯 来場者数： 約180千人</p>		
担当課名	戦略企画課	課・担当 電話番号	075-414-4341

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	みやこづくり推進事業費		
予算額	6,300千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 「明日の京都」に基づき、府域の北から南まで、すべての地域が活力ある「みやこ」として輝くことができる地域づくりを進める「みやこ構想」について、セカンドステージに向け、構想に共通する横断的な課題の解決を図ること等により、個々の構想の取組を強化する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ 構想支援事業 6,300千円</p> <p>(1) 参与（京都情報発信機能強化担当）の配置 ・首都圏でのネットワーク構築、販路開拓、企業誘致、国際交流、情報収集・発信等を行う参与を配置し、首都圏での取組を強化</p> <p>(2) みやこ構想サポートチーム等の配置 ・みやこ構想サポートチーム、参与（景観デザイン担当）、海の京都実践会議を配置し、取組のブラッシュアップや情報発信を強化</p> <p>〔 ○ その他、みやこ構想各構想の全体事業費 4,168,805千円 〕</p> <p>※個々の構想の主な重点事業等については、別紙（共通5-1、5-2のとおり）</p>		
担当課名	計画推進課	課・担当 電話番号	075-414-4347

「みやこ構想」セカンドステージの方向性 及び 26年度当初予算重点事業

●丹後・食の王国構想

「丹後の食」を味わうために多くの人々が丹後を訪れるとともに、「食関連産業」が地域経済を牽引し地域に定着する若者が増えるよう、「丹後あじわいの郷」を「食の10次産業化（生産・加工・販売＋人材育成）」の拠点として活用し、食の10次産業化や食関連産業の一大集積地の形成等を推進

- ◎ 丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業 13,800千円

●日本海観光構想

京都舞鶴港に毎年多くのクルーズ船が寄港するとともに、「海の京都」エリアに国内外から多くの観光客が訪れ、日本海観光を満喫できるよう、魅力的な観光まちづくりや回遊システムの整備、日本海側随一のクルーズ拠点の形成等を推進

- ◎ 「海の京都」観光推進事業 127,000千円
 ◎ 山陰海岸世界ジオパーク推進事業 11,100千円
 ◎ 京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業（国際クルーズ誘致事業） 8,764千円

●京都舞鶴港ランドブリッジ構想

京都舞鶴港が、関西経済圏における日本海側のゲートウェイとして、物流や人流の拠点となり、経済や産業の活性化に貢献するため、港湾周辺に物流関連企業の集積を進め日本海国土軸の核となる物流拠点の整備を進めるとともに、コンテナ・フェリー・クルーズの機能における国際拠点の形成を推進

- ◎ 京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業（コンテナ10000TEU実現事業） 67,500千円
 ◎ 京都舞鶴港物流基盤重点整備事業 20,000千円
 ◎ 京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業（国際クルーズ誘致事業）（再掲） 8,764千円

●北京都ものづくり拠点構想

技術力の高い特色あるものづくり企業が集積し、府北部の大企業や京都市等の企業との協力関係の構築など、京都のものづくり産業にとり不可欠な地域になるとともに農工連携ビジネスの一大拠点となるよう、産学公連携ものづくり拠点の設置や企業誘致、中丹・丹後の地元企業との連携強化を推進

- ◎ 北京都ものづくりパーク大学連携推進事業 12,219千円
 ◎ ものづくりパーク推進事業 8,000千円

●由良川里山回廊構想

由良川流域の恵まれた自然環境や歴史、風土などの地域資源を保全、活用、発信する取組みを進めるとともに、豊かな地域資源を結ぶ自転車道を整備し、新しい観光スタイルの創出による誘客・交流人口の拡大を推進

- ◎ 「中丹・里山の魅力」推進事業 4,000千円
 ◎ 京都モデルフォレスト推進事業 6,500千円

●京都丹波「食と森の交流の都」構想

山や里の恵み、自然、伝統文化等の資源を活かし、教育体験旅行をはじめとして、農家民宿、農家レストラン、クラインガルテンの開設などが進み、都市・農村交流の一大拠点となるよう、体感ツーリズムの郷づくりや森の恵みの保全と活用を推進

- ◎ 京都丹波ゆったり・おもてなし創生事業 2,000千円
 （京都丹波交流型クラインガルデン、地域ぐるみおもてなしマエストロ育成）

●新京都伝統工芸ビレッジ構想

京都新光悦村に企業の生産拠点や芸術家の工房等が集まり、国際的な工芸村として、海外の作家等との交流が盛んに行われ、国内外の観光客で賑わうとともに、伝統工芸の技術とハイテクの融合による新しいタイプの製品創出の拠点及び匠の技術を駆使した文化財修復の拠点形成を推進

- ◎ 京都産業立地促進事業（伝統と文化のものづくり産業振興補助） 95,000千円

●北山文化環境ゾーン構想

国際京都学センター（仮称）や新総合資料館（仮称）、教養教育共同化施設（仮称）、府立植物園などが多くの府民が気軽に立ち寄り、文化、学術、芸術に親しめる交流・発信拠点となるよう、府民に開かれた新しい文化・芸術ゾーンの形成や府民と一体となった文化・学術の振興を推進

- ◎ 新総合資料館（仮称）整備事業 2, 517, 554千円
- ◎ 国際京都学センター開設準備事業 7, 254千円

●京都クロスメディアパーク構想

映画・アニメ・ゲーム等のクロスメディア分野の企業が集積し、世界市場で独自のマーケットを確立するとともに、国内外から多くのクリエイターが集い新しいコンテンツが生み出され世界に発信されるよう、クロスメディア・クリエイティブセンターの運営やネットワーク構築、世界への発信事業を推進

- ◎ クロスメディア分野融合推進事業 74, 824千円
- ◎ 映画・コンテンツ産業推進事業 57, 000千円

●知恵産業首都構想

中小企業をはじめとする多くの京都企業が独自技術に磨きをかけることによるオンリーワン製品づくりや業界・業種を超えたコラボによるライフスタイルに合った新サービスの提案等、京都産業全体で「知恵」を活かしたビジネスが実践されるよう、エコノミック・ガーデニングによる中小企業支援等を推進

- ◎ 京都ブランド推進事業 21, 800千円
- ◎ 「京の老舗」知恵の経営発信事業 2, 000千円

●宇治茶の郷づくり構想

宇治茶の歴史、文化、味、効能等が国内外で高く評価され、生産拡大による茶農家の所得向上とともに、美味しいお茶と茶文化を堪能できるイベントにより「お茶のまち」として全国で定着し多くの観光客で賑わうよう、世界文化遺産登録を目指す取組や生産振興、宇治茶を活かした観光まちづくりを推進

- ◎ 宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業 33, 500千円
- ◎ 宇治茶きらめき街道（仮称）プロジェクト推進事業 53, 000千円

●京都イノベーションベルト構想

京都市域から学研都市に至る地域にベンチャーから中小中堅、大企業まで、絶え間ないイノベーションに取り組むものづくり企業が数多く進出・立地し、次代の京都経済・産業を牽引する地域として発展するよう、R&D志向の企業・研究機関の誘致や世界最速時間による基礎研究成果の実用化を推進

- ◎ 産学公連携共同コーディネート推進事業 6, 500千円
- ◎ 革新的エネルギーシステム創出事業 9, 450千円

●学術研究・未来の都構想

情報、環境・エネルギー、健康・医療等の分野の研究機関等が数多く立地し、最先端の科学技術等を生活等に取り入れた未来都市の形成とともに、地域エネルギー利用最適化を図るマネジメントシステムの導入が進み先進モデルとして国内外に発信されるよう、安心・安全なスマートライフの未来都市づくりや学術・文化のオープンイノベーション拠点の構築を推進

- ◎ けいはんなe2未来都市創造推進事業 43, 220千円
- ◎ けいはんなメガソーラー活用事業 4, 500千円

●環境・アグリバイオパーク構想

学研都市内に立地する植物工場やバイオ関連の企業・研究機関、京都府立大学や京都大学の農場等で、アグリバイオ活用の新しい工業材料や医薬品などの研究開発や生産が活発に行われ、日本におけるアグリバイオの一大拠点となるよう、バイオ関連企業等の集積促進や付加価値の高い食品づくりや新しい医薬品等の研究開発・生産活動等を推進

- ◎ 次世代型植物工場研究事業 5, 500千円

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
文化環境部
商工労働観光部
農林水産部
建設交通部

事業名	「海の京都」事業費		
予算額	827,134千円	新規・継続の別	新規・継続
事業内容	<p>1 目的 平成26年度末までに予定されている京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道の開通、京都舞鶴港の整備進捗、北近畿タンゴ鉄道の再生等による府北部地域への人・ものの流れの増大を最大限に活かし、府北部地域を「海の京都」として、京都市観光と並び立つ質の高い観光圏とするため、平成27年度をターゲットイヤーとして、ハード・ソフトの観光関連事業を総合的かつ計画的に実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ 「海の京都」トータルコーディネーターの配置 10,000千円</p> <p>○ 発信力・集客力のある「戦略拠点」等の形成 434,600千円 ・各戦略拠点のマスタープランに基づく府管理道路・公園等の修景整備 ・加悦岩滝自転車道の線路（舗装）整備 ・景観形成に資する民間観光関連施設の外装等の修景の支援 ・丹後海と星の見える丘公園施設のアメニティ・機能向上</p> <p>○ 「戦略拠点」等を結ぶ周遊基盤の整備 290,134千円 ・観光海路の開通、周遊バスの利便性向上、北近畿タンゴ鉄道のリニューアル支援等による周遊ネットワークの整備 ・京都舞鶴港クルーズ船旅客ターミナル整備</p> <p>○ ブランドの確立 42,800千円 ・「海の京都観光推進協議会」による、ブランド確立、コンテンツ整備、人材育成等の取組への助成 ・丹後の食を支える人材育成や、食のブランド化・高付加価値化等</p> <p>○ 広域観光プロモーションの展開 49,600千円 ・海の京都事業の中核イベントである「海フェスタ京都」への負担金 ・平成27年度のターゲットイヤーにあわせたイベントの企画 ・「TANTANロングライド」の開催支援 ・山陰海岸世界ジオパークの景観保全、ジオツーリズム等の促進・支援</p>		
担当課名	計画推進課 自然環境保全課 海外経済課 観光課 農村振興課 港湾課 交通政策課 都市計画課	課・担当 電話番号	075-414-4347 075-414-4706 075-414-4844 075-414-4854 075-414-5036 075-414-5303 075-414-4360 075-414-5328

「海の京都」事業一覧

NO	事業名	概要	当初(千円)	要求部局
全体	「海の京都」トータルコーディネート業務事業	・民主導による観光まちづくりはじめとして、エリア全体をみながら「海の京都」事業を効果的に進めるための総合コーディネーターを配置	10,000	政策企画部
	小 計		10,000	
戦略拠点の形成	「海の京都」観光振興戦略拠点整備事業	各重点整備地区のマスタープランに基づく府管理道路・公園等の整備(美しい京都づくり事業) ・天橋立周辺の公園等整備 ・歩行空間確保、修景舗装整備等 ・加悦岩滝自転車道の線路(舗装)整備	375,000	建設交通部
	海の京都美観事業	・民間観光関連施設の修景に対する助成 ・複数施設間で統一して修景する場合に対する特例適用を設定	54,000	商工労働観光部
	海の京都の拠点となる府施設等の魅力向上	・丹後海と星の見える丘公園(自然体験活動拠点)の整備(文化環境部 公共一覧)	5,600	文化環境部
	小 計		434,600	
周遊基盤の整備	「海の京都」周遊ネットワークの整備	・観光海路の開設(「海の京都」海陸周遊整備事業) 新たな観光海路の開設に向け、遊覧船の改修費の一部を地元市町と一体となって補助	2,250	政策企画部
		・周遊バスの利便性向上(「海の京都」海陸周遊整備事業) 丹後半島を周遊する幹線路線バスの車両について、わかりやすく魅力的な内外装に改修するための経費を支援	1,050	建設交通部
		・北近畿タンゴ鉄道リニューアル支援 車両のリニューアルを沿線自治体と支援	101,190	建設交通部
	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進費(国際クルーズ誘致事業費)	・外航クルーズ船の受入体制を強化 客船寄港時に、乗船客や乗員に対し地元としての「おもてなし」を提供 ・環日本海クルーズをアピールし、クルーズ誘致を展開	8,764	商工労働観光部
	「海の京都」クルーズ船おもてなし強化事業	・京都舞鶴港クルーズ船旅客ターミナル整備 ・「新たなにぎわい創出」に必要な機能を有する旅客対応施設の整備	174,000	建設交通部
		クルーズ船乗客域内促進・おもてなし隊結成事業 ・クルーズ船の寄港時等に外国人旅行者等のおもてなしを行う「中丹太鼓おもてなし隊」の結成 ・海の文化祭の開催(海フェスタ京都の期間中に開催) ・京都舞鶴港クリーンアップキャンペーンの実施	2,880	中丹広域振興局
	小 計		290,134	

「海の京都」事業一覧

NO	事業名	概 要	当初 (千円)	要求部局
ブランドの確立	「海の京都観光推進協議会」推進事業	・「海の京都観光推進協議会」を通じ広域プロモーションやブランドコンテンツ整備、人材育成など官民共同による一体的・集中的な取組に対する助成等	29,000	商工労働観光部
	丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業	・「丹後・食の王国構想」の実現に向け、丹後の「食」のブランド化・高付加価値化を推進	8,500	商工労働観光部
		・今後の丹後の「食」を支える人材(高校生等)を対象とした学生レストランの実施等	5,300	農林水産部
	小 計		42,800	
広域観光プロモーションの展開	海フェスタ京都の開催	・海の京都事業の中核イベントである海フェスタ京都への負担金	30,000	建設交通部
	「海の京都博(仮称)」開催事業	・平成27年度の「海の京都」のターゲットイヤーにあわせたイベントの企画等	10,000	商工労働観光部
	「TANTANロングライド」開催支援事業	・サイクリングイベント「海の京都 TANTANロングライド2014」への参加者に対するおもてなし事業を実施	2,000	商工労働観光部
	山陰海岸世界ジオパーク推進事業	・ジオパークのH26指定更新に対応するため、山陰海岸ジオパーク推進協議会で地質資源調査研究や環境教育プログラム整備等を実施 ・世界ジオパークの見所である大成古墳の景観保全と観光振興を新たに実施	11,100 3,500再掲	文化環境部 商工労働観光部
	小 計		49,600	
総計			827,134	

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
文化環境部
商工労働観光部
農林水産部

事業名	新・世界遺産事業費		
予算額	49,500千円	新規・継続の別	新規・継続
事業内容	<p>1 目的</p> <p>「古都京都の文化財」世界遺産登録20周年にあたり、「古都京都の文化財」をはじめ、京都の文化資源の発信及び「天橋立」「宇治茶」の世界遺産登録を推進し、府域全体の活性化を図る。また、「和食」の無形文化遺産登録を受け、保護・継承や世界への発信の強化を図るための取組を実施。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 「古都京都の文化財」世界文化遺産登録20周年記念事業の推進 3,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産登録20周年記念シンポジウムの開催 ・児童絵画コンクール等の実施 <p>(2) 「天橋立」の世界文化遺産の登録推進 2,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イコモス関係者を招聘した国際会議等の開催 ・地元の協力・理解の促進に向けたシンポジウムの開催 <p>(3) 「宇治茶」の世界文化遺産の登録推進 33,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書原案の策定 ・宇治茶生産の景観整備 ・府民運動の拡大に向けた「宇治茶府民カレッジ（仮称）」の開設等 <p>(4) 和食文化の保護・継承・発展 11,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都・和食文化協議会（仮称）」設置による取組体制の構築 ・無形文化遺産「和食」発信事業（「京都・食文化総合博覧会（仮称）」実施による和食文化の魅力発信 		
（目的） （対象） （方法等）			
担当課名	計画推進課 文化芸術振興課 観光課 農政課	課・担当 電話番号	075-414-4539 075-414-4219 075-414-4854 075-414-4898

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
商工労働観光部

事業名	和食文化推進事業費（再掲）		
予算額	11,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容	<p>1 目的</p> <p>平成25年12月の和食のユネスコ無形文化遺産登録決定を受け、和食文化を保護・継承・発展させていくことが重要となる中で、京都に集積する文化・学術・技術・伝承・知恵等を活かし、京都総体で和食文化の保護等に取り組む体制を構築し、その多角的な魅力を発信する取組を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 京都・和食文化協議会（仮称）の設置 1,000千円 京都に集積する和食文化に関連する団体等で構成する組織を設置し、各団体等の取組を促進し、京都総体で和食文化の保護等に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和食文化の保護等に取り組む団体等が集うネットワーク組織の構築 ・和食文化の保護等に係る取組の情報共有、提供 ・和食文化の保護等に資する顕彰・発信等事業の実施 ・和食文化に係る高等教育機関の連携 <p>(2) 無形文化遺産「和食」発信事業 10,000千円 さまざまな世代を対象に、和食の真髄である京料理をはじめ和食の魅力を体感できる多角的なイベントとして、「京都・食文化総合博覧会（仮称）」を開催</p> <p>開催時期：平成26年12月（予定） 内 容：和食ジュニアコンテスト、京料理体験、和食文化シンポジウム、お雑煮フェスティバル 等</p>		
担当課名	計画推進課 観光課	課・担当 電話番号	075-414-4539 075-414-4854

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
建設交通部

事業名	「宇治茶きらめき街道（仮称）」プロジェクト推進事業費		
予算額	53,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容	<p>1 目的 木津川右岸地域の振興とともに、宇治茶を世界にアピールし世界遺産登録に向けた動きを加速するため、新たに「宇治茶きらめき街道（仮称）」のグランドデザインを描き、ソフト・ハード両面から街道づくりを推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) グランドデザインの構築 3,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路案内・看板・ガードレール等の仕様統一から、観光客の受入も意識した街道づくりを目指し、関係機関による推進体制を構築 ○ 検討委員会において宇治木屋線を中心にした街道整備のマスタープランを策定 <p>(2) 景観に配慮した街道整備 50,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マスタープランの策定にあわせて、宇治茶の街道にふさわしい修景整備を実施（案内看板の整備等） 		
担当課名	計画推進課 道路管理課	課・担当 電話番号	075-414-4347 075-414-5262

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	「明日の京都」計画改定費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容	<p>1 目的</p> <p>現行の「明日の京都」中期計画・地域振興計画については、計画期間が平成26年度末までとなっているため、府民や有識者等から広範な意見を伺い、長期ビジョンで示された社会の実現に向け計画を改定する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 次期「中期計画」・「地域振興計画」の検討 学識経験者・有識者等から計画改定に係る意見を伺い、次期計画を検討</p> <p>(2) 広範な府民意見の聴取 府内各地で交流会を開催し、府民から計画改定に係る広範な意見を伺う。</p> <p>(3) 次期計画の広報 次期計画の普及啓発のため、冊子等の作成・配布やメディアを活用した広報活動を実施</p>		
担当課名	計画推進課	課・担当 電話番号	075-414-4538

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
文化環境部

事業名	けいはんなエネルギー未来都市創造事業費		
予算額	103,420千円	新規・継続の別	新規・継続
事業内容	<p>1 目的 けいはんな学研都市において、電気エネルギーの自給都市モデルを構築するとともに、関西イノベーション国際戦略総合特区の要となる拠点整備に向けた取組を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) けいはんな^{イイ}e²未来都市創造推進費 47,720千円</p> <p>①未来都市創造事業費 学研都市内の同志社山手地区、精華・西木津地区、木津地区等において、地域で消費するエネルギー（電気）の自給が可能となるモデルの構築を目指し、多様なエネルギー関連機器を導入 ・住宅スマート化（家庭への創エネ・省エネ・蓄エネ機器の導入支援） ・事業推進体制の整備</p> <p>②未来都市体感・情報発信費 エネルギー未来都市の全体像や、関連する京都府の取組等をわかりやすくアピールするための情報発信を実施 ・未来都市のイメージの発信や、「けいはんな太陽光発電所」を活用した体験・学習ゾーンによる環境学習の実施 ・首都圏や海外などターゲットを絞った情報発信</p> <p>※e²… Ecology & Energy conservation(エコロジー&省エネルギー)</p> <p>(2) けいはんなオープンイノベーション拠点整備事業費 50,200千円 国から譲受を受ける旧「私のしごと館」を活用し、多彩な共同研究プロジェクト等が集積する国際的なオープンイノベーション拠点の整備に向け、譲与後に必要となる施設の維持管理を実施</p> <p>(3) 次世代型植物工場研究費 5,500千円 府立大学精華キャンパス内の太陽光発電・燃料電池を備えた植物工場において、創エネ・省エネの次世代型植物工場の実証実験及び京都独自の高機能性野菜の研究開発</p>		
担当課名	文化学術研究都市推進課 新技術拠点整備課 府大学振興課 エネルギー政策課	課・担当 電話番号	075-414-5194 075-414-4372 075-414-4525 075-414-4297

平成26年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	地域振興計画推進費		
予算額	1,300,223千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 ○「明日の京都」地域振興計画に基づき、総合的・戦略的な視点による地域づくりを進めるため、災害に強い地域づくり等の事業を実施するとともに、各地域が持てる資源と個性を活かし、戦略的に地域の活性化を実現するための「みやこ構想」について、本庁各部予算と各広域振興局予算を連動させて着実に推進する。		
	2 事業内容 (単位:千円)		
	局	事項	当初予算額 (うち局予算額)
	山城	局独自施策 ○人づくりに始まる災害に強いやましろづくり事業 天井川の急激な増水等を想定した市町村との初動対応訓練や地域防災リーダーの養成、医療機関と連携した訓練等を実施 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 155,670 ・「宇治茶きらめき街道(仮称)」プロジェクト推進事業費(企画・建設) ・けいはんなe ² 未来都市創造推進費(企画) 等)	173,770 (18,100)
	南丹	局独自施策 ○災害に強い京都丹波づくり事業 孤立集落が多数発生した場合を想定した初動対応訓練や防災リーダーの養成、観光地において避難経路案内板の設置等を実施 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 116,700 ・京都産業立地促進事業費(伝統と文化のものづくり産業振興補助金)(商工) ・伝統産業若手育成事業費(商工) 等)	131,800 (15,100)
中丹	局独自施策 ○災害に強い中丹地域づくり事業 海上保安庁をはじめ国の関係機関等と連携した訓練や由良川の氾濫等の災害に備えた訓練、公衆衛生活動研修会等を実施 ○「中丹太鼓おもてなし隊」結成・「海の文化祭」開催事業 クルーズ船寄港時に歓迎するおもてなし隊の結成と、太鼓やダンス、JAZZ等を披露する「海の文化祭」(海フェスタ京都関連)の開催等 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 432,728 ・京都舞鶴港日本海側拠点機能推進費(コンテナ10000TEU実現事業費)(商工) ・北部産業活性化推進事業費(北部産業技術支援センター・綾部推進事業費)(商工)等)	451,708 (18,980)	
丹後	局独自施策 ○災害に強い丹後の人づくり事業 高齢者に対する情報伝達訓練や津波被害を想定した訓練、高齢者の避難を支援する防災リーダー育成等を実施 ○TOMORROW丹後プロジェクト 地域在住の高校生が企画段階から参画する地域イベントの開催等により、ふるさとへの愛着、誇りを醸成 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 527,245 ・「海の京都」観光振興戦略拠点整備事業(建設) ・丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業費(商工・農林) 等)	542,945 (15,700)	
担当課名	計画推進課	課・担当 電話番号	075-414-4347